

| | 点検・評価項目 | 自己評価 | 自己点検・自己評価項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情など） |
|--------|--|-------------|--|--|
| | | 3 2 1 | | |
| 1. 生徒会 | ・生徒会本部役員生徒に 2000 人の生徒の代表である誇りと自信を涵養する | 2 | 週 2 回の会議や様々な活動を積極的に行っており、指導成果が出ている。責任感の涵養に努めたい。 | 入学式参列 対面式挨拶 部活動紹介・体験会 生徒総会 真心ウイーク 甲子園壮行会挨拶 |
| | ・生徒会本部役員自主性の支援 | 2 | 生徒の主体性を尊重する方針に基づき、指導を継続する。 | |
| | ・発信力を強化し、行事および日常活動についての呼びかけ・報告を頻回に行う | 3 | 全体集会での生徒会長挨拶を定例化し、発信力を強化した。放送部と連携し行事についての呼びかけを行った。全体集会時でのその他の呼びかけや発表にも工夫が見られる。広報課と連携し HP 発信に注力している。 | 生徒会長定例挨拶 真心ウイーク呼びかけ 文化祭テーマ募集 文化祭テーマ発表 HP 生徒会新聞草案中 |
| | ・生徒会の存在感強化 ・評議会機能をさらに高め、学校全体の一体化と生徒会活動の強化をめざす | 2 | 上記発信力の強化により存在感を増す。文化祭準備を通して評議会機能を向上させる。 | 生徒会リーフレット 生徒総会 文化祭準備 |
| | ・外部交流を進め、視野と活動の幅を広げる | 2 | 「きさこん」活動が定着化。さらに充実を図る。 7月の西日本豪雨災害について緊急募金活動を行った。 | きさこん高校生記者 平成 30 年度 7 月豪雨災害義援金募金活動 |
| | ・各行事の意義を大切に、生徒の潜在能力を発揮・発掘する ・各行事を彩りのあるものとするとともに、企画・運営の精度を高める 今年度は特に文化祭の安全運営に重点を置いて抜本的改善を図る | 3 | どの行事に対しても、これまでの反省に基づき、真剣に取り組み、工夫を凝らして改善を図っている。教員による毎週の定例会議により一致した協力体制がとれている。全校的に学校行事に取り組む姿勢に向上が見られる。 | 入学式・対面式 部活動紹介・体験会 生徒総会 真心ウイーク 文化祭準備 |
| | ・行事反省をもとにフォローアップを発信し、教員間のコミュニケーションを強化する | 2 | アンケートのフィードバック、全職員への呼びかけを強化する必要がある。 | 部活動紹介・体験会 真心ウイーク |
| 2. 委員会 | ・各委員会活動を通して、生徒たちに仕事の喜びと責任感を涵養する | 2 | 委員会ごとに特色ある活動を展開している。行事での連携を図る。 | |
| | ・活動報告を生徒総会・全体集会時に行い、周知させるとともに委員の意識を高める | 1 | 生徒への活動報告は今後の課題である。生徒会新聞の活用を図りたい。 | |
| | ・委員会委員長の先生方と協力し、具体的活動のさらなる活発化をめざす | 2 | 委員会のさらなる活発化に協力する。 | |
| 3. 部活動 | ・部活動・同好会全体加入率 60%、1 年生 70% を目標とする | 2 | 部活動紹介・パンフレット・入学式後の勧誘活動等、精力的に活動した。加入率は昨年度より減少。 | 全体加入率 : 53% 1 年生加入率 : 59% |
| | ・勧誘活動の強化策を各部と連携して講じる | 2 | 各部との協力により勧誘活動を展開。入・退部届用紙、システムを改善した。 | 部活動紹介・体験会 パンフレット 入・退部システム |
| | ・部活動報告を発信する | 1 | 広報課に協力。生徒会新聞も活用し発信力を強化する。 | |

(注) 自己評価： 優れている… 3 適切… 2 改善が必要… 1